



かながわベスト介護セレクト20 事業所紹介

社会福祉法人 中心会 えびな北高齢者施設



事業所概要

サービス種類：介護老人福祉施設

管理者：三浦 正光

所在地：海老名市上今泉4-8-28

従業員数：52名 (H30.10.1 現在)

人材育成のための取り組み

- 「中心会職員としての成長のステージ」という冊子を作成し、法人で大切にしている価値観の成長度について、「人として」「組織人として」「専門人として」という3つの視点から、それぞれ成長していくための「道標」を明確化しています。なりたい姿が具体的に想像でき、どのような取り組みをしていくか計画が立てられ、継続的な活用ができています。ステージが上がっていくことで、職員自身の仕事に対する意欲向上にもつながっています。
- 指導監督職と職員間の面接時間を、定期的に設けています。職員が普段話すことができない悩みを吐き出す時間につながり、また自分の目標ややり遂げたいことに対する取り組み状況の見直しができる時間となり、職員の定着へ繋がれるようにしています。

処遇改善におけた取り組み

- ワークライフバランスに基づく職場環境作りとして、介護育児休暇の取得の推進や、「計画年休」制度の活用により年間3回各7日間の長期休暇を取得でき、最長で21日間の取得も可能になっているため、計画的に職員自身が休息できることで仕事とプライベートのメリハリが取れています。
- 職員自らが、スキルアップのための研修参加を積極的に行っています。個人のスキルアップのための研修と判断できるものは、法人が受講費用を負担する制度を活用し、研修へ参加しています。また、資格取得のための研修費、試験費用の法人支援もあるため、実務者研修等への参加により、介護福祉士取得職員が増えています。

サービスの質の向上のための取り組み

- ISO9001取得により、顧客満足を目指すために、日々の仕事にばらつきがないようにすることや、不具合が発生した際も原因分析をして改善策を立て、再発しないような仕組みを作ること、教育をすることなど、継続的に取り組むことができています。その結果、サービスの質の向上へ結びついています。
- 法人で作成した「持ち上げない介護技術テキスト」を使用し、人の自然な動きに合わせた介護を提供するための介護技術研修を年間4回実施し、職員のスキルアップに努め、ご利用者に怪我をさせない事、自立を目指す介護技術を提供しています。また、介護ロボット（スライディングシート、ボード等）の導入も行っています。



選考会からひとこと

直接の身体的なサービスではありませんが、訪問理美容の機会を増やすなどのサービスの工夫は、その人らしく尊厳をもって暮らしたいという基本的欲求に応えるものであり、職員にとっての働きやすさとあわせて、高く評価します。